

すな お

令和6年1月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2024.1.16 通巻 No.762



会 長

新年明けましておめでとうございます。昨年はそれぞれの場所、立場で精一杯おつとめいただきありがとうございました。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

教祖140年祭の年祭活動2年目を迎え、元旦祭で2つの事を今年目標として具体的に申しました。一つは「おぢばへ帰ろう」です。そのスタートとして先日おぢばのおせちに参加させてもらいました。コロナ前は年間のおぢば帰りとして春の大祭、4月誕生祭、こどもおぢばがえり、秋の大祭とつとめさせてもらって来ましたし、10年ごとの周年祭や教祖の年祭にも帰らせてもらいました。現在、さまざまな理由からこうした形でのおぢば帰りを全て復活するのは難しいと思いますが、逆に以前よりそれぞれの家族単位で帰らせてもらうことも可能になったように思います。教会より順次、旬々のおぢばがえりのお誘いはさせていただきますが、それぞれがおぢばへ心を繋ぎお帰りいただきたいとします。

もう一つは「おつとめ練習をしましょう」です。教会の存在意義はおつとめをする場所であり、それが第一に優先することです。一人ひとりがおつとめに向かう姿勢を新たに、心構えと共に形の上での成長を目指し練習を重ねたいとします。基本的には月次祭終了後、来月に向かっての練習をさせていただきます。講社祭の際に聞かせていただいた、それぞれの目標完遂を目指しつとめていただきたいとします。

そのおつとめには世界の治まりを願うという大きな意味があります。年頭に起きた地震も未だ揺れ続いています。広い意味での治まりを願ひ共々におつとめをつとめたいとします。よろしくお祈りいたします。

《ちよつとの心がけ》

二宮 真悟

みなさま、遅らばせながら、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈り致します。

新年早々昨年を振り返ります。思い返すところこの4年、落ち着いて教会に帰ることができなかつたように思います。最初の3年間などは特に、毎日仕事に明け暮れており、休みの日曜も寝るだけ。そしてまた1週間仕事、そんな生活を繰り返していました。

しかしそんな生活も昨年の夏頃から少しずつ変化がありました。仕事の現場が愛媛になつたりして教会に帰る機会がポツと増えたのです。実は4年目からは大教会の植木の剪定ひのきしんを始めていまして、休みの日に時間のお供えでもと (次ページへ)

練習も兼ねてせこせこ剪定をしていました。そのお陰あってか、教会やお道に関わる時間が増え、仕事も将来を見据えて次のステップに行く決心がついたようにおもいます。

仕事だけしてこなかった3年間からお道に心を寄せて通ってみた1年間、大きな変化を見せて頂けました。この心がけを忘れずに本年も通っていきたいと思います。

教会ニュース

おせち団参報告



今月6日、7日とおちばのおせちに4名で帰らせていただきました。おちばでの学生時代は、受け入れる係として8年間つとめさせてもらい、数年前は集会員の御用として受け入れひのきしんをさせてもらいました。そう思うと参加者としてのおせちは初めてのことでした。

元旦祭の時に「ともかく、おちばへ帰らせてもらおう!」「そのスタートはおせちです!」と皆さんに話しました。男性4人の旅で、これまたどんな雰囲気になるかな?と思っていました。お互いがお互いに心をかけながらとても心地良い2日間でした。たすけの心が充満している車内であり、室内でした。

おせちとしていただくお餅、水菜、お出汁。どれも心の籠もった物ばかりで、帰りにはお土産としてのお餅まで頂戴しました。また、来年も企画をしたいなあと思う【おせち団参】でした。参加者は今治からの4名に加えて天理市内からの合流で総勢5名でした。 会長

教区布教講演会

2月28日(水) 10時から15時 教務支庁において布教講演会が開催されます。講師は高岡大教会、清幡分教会ようぼくで脚本家の久松真一先生です。

参加費用1000円 申込期限 2月15日まで(希望の方は早めに会長まで連絡下さい) 《久松真一先生からのメッセージ》

「私は富良野塾創設者、巨匠倉本聰と衝撃的な出会いを通じて脚本を学びました。そしてサラリーマンを辞めて27歳で飛び込んだ「夢」への第一歩。「北の国から」の大地で農作業を学び、31歳で脚本家としてデビューすることができました。あれから32年。今までの立場や経験を通して「夢」を持つことの大切さについてお話します。今までの執筆活動や演出家としての経験をもとに皆さんとお話できればと考えています。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。今年辰年です。日々様々な事に向き合いながら、どんどん昇って行きたいですね。昨年末に初めて購入した年末ジャンボ宝くじは、夢も空しく外れました。(編集者K)